職位/Position 教員氏名/ Name 准教授 成瀬　健一郎	オフィスアワー/Office hours F1 火曜２時限目　木曜２時限目 F2 火曜２時限目　木曜２時限目	研究室/Office number F307

教員の所属学会並びに社会活動・課外活動顧問など/Affiliated Academic Society & Social Activity

所属学会：日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本経営システム学会
社会活動：特定非営利活動法人　DRR(Disaster Risk Reduction) ネットワークつなぐ

ゼミ名/Seminar
情報システムゼミ

２年次までに修得していることが望ましい科目/
Preferable courses should be taken before the end of second-year studies

経営情報基礎論Ａ／Ｂ、情報ネットワーク論、情報システム論、情報セキュリティＡ、デジタルアプリＡ／Ｂ、情報化戦略とマネジメントＡ、情報学演習Ａ/Ｂ

研究指導内容とその進め方/Teaching system and content

Ⅰ．初年度（３年次）/First year(third-year students）

企業における経営戦略に携わるビジネスパーソンに欠かせないものとなっている情報システムや情報通信技術に関する技術と知識を身に付けるとともに最近の話題を学ぶ。以下のキーワードをゼミ生が書籍などを使って調査・発表し議論する形態で学習するとともに、卒業論文に向けたテーマの検討、設定、事前調査、卒論に向けた基礎学習などをおこなう。また、統計解析ソフトのＲについて講義・演習を行う。また、Ｒを使った統計解析手法及びプログラミング言語の python を使った演習を行う。python の学習においてはオンデマンド動画による学習を行う。

キーワード
人工知能（機械学習）、ＲＰＡ、ビッグデータ、アンドロイド OS、ドローン、3D プリンタ、IoT、ウエアラブル端末、クラウドコンピューテング、DX、データサイエンス、オペレーションズ・リサーチなど

Ⅱ．次年度（４年次）/ Second year(fourth-year students）

各自のテーマをもとに研究・卒論執筆をおこなう。図書館やインターネットなどを利用して各自のテーマに関連した情報の収集をおこない、卒業論文あるいはプログラミング言語（言語は python を推奨）を利用してコンピュータシステム設計・製作する。

卒論の進捗状況の報告・現在までに分かったこと・問題点などについてプレゼンテーションソフトを用いて最低 3 回発表をおこなう。

Ⅲ．卒業論文の指導、その他指導について/Graduation thesis guidance and others

各自卒論を作成する。IT パスポート試験、基本情報技術者試験等の情報処理技術者試験の取得指導もおこなう。ゼミの時間は基本的に担当教員との相談や発表の時間に充て、論文執筆やシステム設計・製作などは、ゼミ以外の時間を利用する。

ゼミ生においては、問題解決能力として、１　物事を最後まで粘り強くやり遂げる力、２　協調性を育む力、３　物事の本質を見抜く力、４　自分で考える力　ゼミを通して醸成していく。

教科書、参考書などについて/Textbooks, reference books

掌田津那乃, R/RStudio でやさしく学ぶプログラミングとデータ分析, マイナビ出版, 2023
その他、ゼミ内で各々の研究・卒論に合うものを紹介する。

ゼミライフ：(合宿、ゼミ会等)/Seminar activities(meetings, training camps）

ゼミ参加者の要望があれば、ゼミ学生の自主的な企画のもとに実施する予定。

ゼミ生に対する要望・注意等/Requests, comments

通常の講義形式の授業とは異なり、ゼミにおいては学生自ら調査・研究をおこなうもので、教員は原則的に卒業論文・プログラム完成に向けた相談相手・チュートリアル・コーディネートをおこなう。
ゼミに遅刻欠席をしないこと。